

病虫害発生速報

令和3年8月26日
第11号

対象作物：畑作物、園芸作物共通

発信元 山形県病虫害防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

題名：ハスモンヨトウの被害に注意！

1 発生概況

- (1) 地区予察圃場（鶴岡市）における7月1半旬から8月5半旬までのフェロモントラップによる誘殺数はやや多い（図）。
- (2) 8月中旬以降、だいず、かき、秋冬ねぎ等で卵塊や幼虫による食害が確認されている（写真）。
- (3) 向こう1か月の気温は高いと予報されており、本種の活動に好適な条件となるため、幼虫の食害による被害の発生が懸念される。

2 防除対策

- (1) 本種は広食性で、畑作物、果樹、野菜、花き等、多くの作物を加害するため、圃場をよく見回り、早期発見に努める。
- (2) 本種の卵は卵塊で産み付けられ、ふ化した幼虫は2～3齢期まで集団で過ごし、葉の表皮を残して白色のカスリ状に食害する。卵塊やふ化直後の幼虫の集団（写真左）が見られる葉は取り除き、適切に処分する。
- (3) 薬剤防除を行う場合は、幼虫の齢期が進むにつれ防除効果が低下するため、若齢幼虫期に、薬液が葉裏までかかるようていねいに散布する。

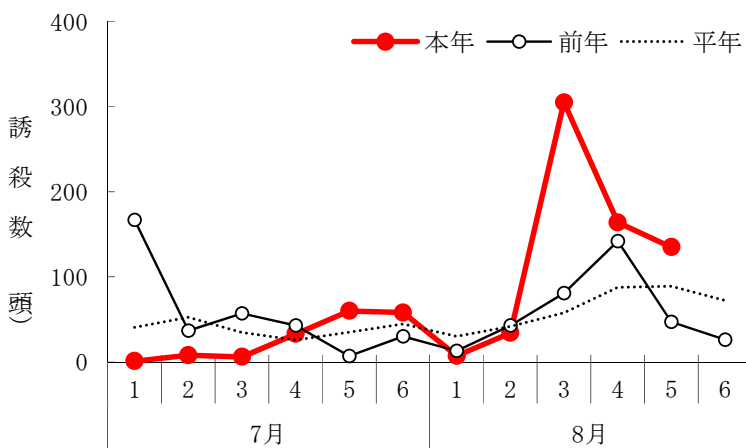


図 フェロモントラップによる誘殺数（地区予察圃場：鶴岡市）

写真 卵塊からふ化した幼虫の集団（左）とねぎでの食害状況（右）

農薬の使用にあたっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。